

# 平成22年度 平和な未来を市民とともに育む 財政状況のあらまし

市の財政がどのように運営されているかをお知らせするために、地方自治法および市条例に基づき、毎年2回、財政状況を公表しています。今回は、平成22年度(22年4月～23年3月)の決算状況をお知らせします。



国上守正市長

平成22年度は、「平和な未来を市民とともに育む予算」と位置付け、計画3年目となる第四期長期計画・調整計画の事業を着実に推進しました。以下は調整計画の「施策の体系」に沿って実施した主な施策です。



4月に開園した境南中央公園(境南町4-21)

## 健康・福祉

乳幼児健診の充実、子宮頸がん等ワクチンの接種費用助成、子宮がん検診の受診の促進、地域リハビリテーションの充実、老人保健施設の整備・補助、認知症グループホーム整備事業など

## 子ども・教育

子育てSOS支援センター事業、境こども園(仮称)開設準備、病後児保育事業の拡充、不登校対策に関する相談支援の充実、少人数指導および学習支援教室の推進、小学校外国語活動の支援、校野小学校増築工事、武蔵野プレイス開設準備など

## 緑・環境・市民生活

第六中学校屋上への太陽光発電設備の設置、小規模事業者への事業系ごみの排出指導強化、クリーンセンター周辺道路整備、境南中央公園の新設、NEXT吉祥寺活性化イベントの開催、家具転倒防止器具の配布・設置など

## 都市基盤

透水性・遮熱性舗装道路の整備、配水管の耐震性ダクタイル鋳鉄管への取り替え推進、浸水被害低減のための雨水貯留施設用地取得、吉祥寺大通り北自転車駐車場の整備など

## 行・財政

市民共同サロン活性化・協働の推進、国勢調査の実施、市民と市長のタウンミーティング、市民雇用創出事業、第五期基本構想・長期計画策定のための委員会の設置・市民会議の開催など

本市の財政は多摩26市の中でもトップの水準を維持していますが、公共施設更新など今後の厳しい財政環境を想定して、計画的な市政運営を着実に推進していくため、限られた財源を効率的・効果的に配分し、市民福祉の向上に努めます。

## 一般会計

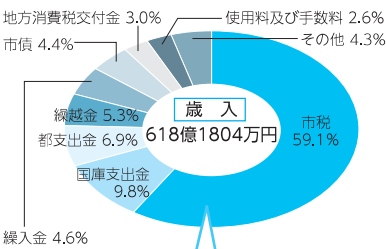
平成22年度の一般会計当初予算は569億4000万円でした。その後5回の補正により最終予算額は613億6768万円になりました。下記の決算の結果、翌年度への繰越金は24億5401万円となりました(歳入から歳出を減じた額より23年度への繰越事業にかかる財源を除いた実質収支)。

### 歳入

歳入総額は、前年度に比べ12億3669万円(2.0%)増加の618億1804万円となりました。景気の低迷の影響による所得の減少に伴い個人市民税が大幅に減少したものの、固定資産税、都市計画税、法人市民税が増加となり、市税全体では0.4%の増加となりました。また、基金取り崩しによる繰入金、市債(借入金)、国庫支出金および都支出金などが増加となりました。

決算額(万円)

歳入	平成22年度	21年度	増減額
市税	365億 688	363億6442	1億4246
国庫支出金	60億4785	59億3867	1億 918
都支出金	42億8878	37億9268	4億9610
繰越金	32億7838	51億4911	△ 18億7073
繰入金	28億6818	19億5904	9億 914
市債	27億1520	16億5460	10億6060
地方消費税交付金	18億2068	18億2381	△ 313
使用料及び手数料	15億7888	15億7864	24
その他	27億1321	23億2038	3億9283
計	618億1804	605億8135	12億3669

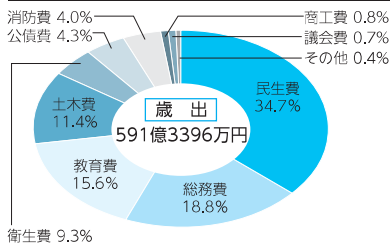


### 歳出

歳出総額は、前年度に比べ18億3098万円(3.2%)増加の591億3396万円となりました。民生費は子ども手当の支給開始により大幅な増加となりました。総務費は、基金への積立てにより増加となりましたが、商工費は定額給付金の支給終了により大幅に減少しました。

決算額(万円)

歳出	平成22年度	21年度	増減額
民生費	205億4676	171億2574	34億2102
総務費	111億1977	95億2956	15億9021
教育費	92億3725	91億8134	5591
土木費	67億3116	72億6723	△ 5億3607
衛生費	54億7866	56億1349	△ 1億3483
公債費	25億7406	29億9999	△ 4億2593
消防費	23億5958	22億 230	1億5728
商工費	4億5510	25億 243	△ 20億4733
議会費	3億9608	4億 931	△ 1323
その他	2億3554	4億7159	△ 2億3605
計	591億3396	573億 298	18億3098



## 特別会計・水道事業会計

特定の歳入を特定の歳出に充てて経理する事業は特別会計で、水道事業は独立採算制のため水道事業会計で決算を行います。

特別会計	歳入	歳出	差引額
下水道事業	34億8032	34億5862	2170
国民健康保険事業	109億1166	108億6735	4431
老人保健(医療)	4988	4988	0
後期高齢者医療	26億7347	26億6381	966
介護保険事業	88億6564	87億3537	1億3027
計	259億8097	257億7503	2億 594

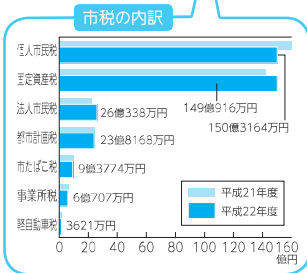
区分	収入	支出	差引額
収益的収支	36億4029	35億2070	1億1959
資本的収支	749	9億 946	△9億 197

\* 資本的収支の不足額は、当年度の補てん財源(損益勘定留保資金、消費税および地方消費税資本的収支調整額、減債および建設改良積立金)で補てんしました。

## 武蔵野市の財政を家計に例えると...

家庭の家計簿と市の財政では単純には比べられません。一般会計の決算の内訳を年収500万円の家計に例えてみると、おおよそ下記ようになります。

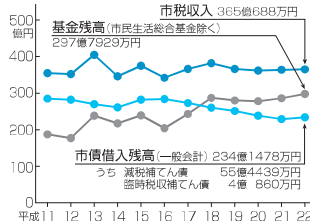
(収入)	
給料	345万円 (市税収入など)
借入金	22万円 (市債)
その他臨時収入	133万円 (国庫・都支出金など)
(支出)	
日常生活費	378万円 (人件費、物件費、扶助費など)
家財購入・修繕	69万円 (投資的経費など)
借入金返済	21万円 (公債費)
貯金	32万円 (積立金)



## 財政指標

年度	指標	財政力指数 (3年平均)	経常収支比率 (%)	公債費比率 (%)
平成20年度		1.67	87.1	2.9
21年度		1.61	86.4	2.3
22年度		1.55	88.6	1.8

## 市税・市債・基金の推移



## 市有財産

土地(庁舎、学校など)	59万2163m <sup>2</sup>
建物(庁舎、学校など)	33万2803m <sup>2</sup>
有価証券(株券、出資証券)	4055万円
基金(財政調整基金、公園緑化基金など)	297億7929万円
物品(取得価格50万円以上)	車両 142台 備品 664点
その他	立木 2189本 プール施設 19カ所 防火水槽 265カ所 公共下水道 25万2711m

- **財政力指数**: 地方公共団体の財政力を示す指数で、指数が高いほど財政力が強いことを表し、1を超えると非常に財政力が強いといえます。
- **経常収支比率**: 人件費や扶助費などの義務的経費に市税などの一般財源がどのくらい使われているかを表すものです。比率が低いほどさまざまな事業に取り組む余裕があることを示します。
- **公債費比率**: 一般財源から市債の返済に充てられる割合を示すもので、10%を超えないことが望ましいとされています。

- **基金**: 年度間の財源調整、公園や施設の整備などのために、毎年積立てを行っています。
- **市債**: 道路や公園、学校など長期間使うものを建設する事業などについて資金を借り入れ、分割返済をすることで後年度にもその費用を公平に負担していただくための制度です。
- **減税補てん債**: 平成6～8・10～18年度に実施された住民税減税分を補てんする市債です。
- **臨時税収補てん債**: 平成9年度の消費税の税率変更に伴う収入不足額を補てんするために発行した市債です。

この特集に関するお問い合わせは、財政課 ☎60-1803へ